

## 令和元年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第4分科会

富士吉田市立下吉田第二小学校

教諭 加藤 一郎

### 『地域とつながる学校づくり』 ～市長さんと話す会の取り組み～

#### 1 はじめに

南都留地区では、43校の小中学校の児童会・生徒会の役員が集まる児童生徒連絡協議会（以下、児生連と記す）が行われている。ここでは、児童生徒が互いに話し合い、交流を深めるなど、リーダーとしての学習の場となっている。児童生徒が、助け合い活動やボランティア活動への協力を呼びかけたり、教育祭「子ども・保護者・教職員の会」で、各校の取り組みについて発表し、よりよい活動にするためにはどうすればいいか話し合ったり、自分たちの声を県や市町村に届けたりする活動を行っている。

#### 2 富士吉田市児生連の活動について

地区での活動とともに、富士吉田市では、市内11校の児童会・生徒会の役員が年4回集まり、児生連会議を開催している。ここでは、富士吉田市児生連のテーマのもと、共通して特に力を入れていきたい活動について協議し、決まったことをもとに各校の児童会・生徒会の活動を工夫し、地域と関わりながら様々な取り組みを行っている。

平成30年度は、「美しい富士山の街『富士吉田』で、ふれあいの輪を広げよう」というテーマのもと、「あいさつ」と「環境美化」を重点活動とし、次のような取り組みを行った。

- ・「市内花いっぱい運動」…各学校で、執行部や委員会などがプランターに季節の花を植え、市内にある施設に届け、地域の人に花に親しんでもらう。
- ・「市内一斉地区清掃」…市内小中学校で同じ日に通学路などでごみ拾いを行い、校区の環境をよりよくする。
- ・「市内一斉あいさつ運動」…市内小中学校で同じ日に保護者とともに校門や校舎の前などに立って、朝の時間にあいさつをすることで、あいさつを進んで行うように呼びかける。
- ・「吉田空襲展」への参加…吉田空襲に参加し、空襲体験者の話を聞いたり、工場の跡地や殉難碑などを実際に見学するフィールドワークをしたりして、平和について考える。また、地区43校へ「平和への願い」を込めた色紙の作成を依頼し、会場に展示する。
- ・「歳末助け合い運動」への協力…タオルや古切手、書き損じはがき、募金などを集め、各施設に届け社会福祉に貢献する。

### 3 市長さんと話す会について

南都留地区内では、小・中・高の児童生徒が、各自治体の首長や教育委員会関係者とともに、よりよい街づくりについて話し合う場が開かれている。都留市では「都留リーダーサミット」、富士河口湖町では「町長さんと語る会」などがある。富士吉田市では「市長さんと話す会」が行われ、テーマに基づいて児童生徒が話し合い、高校生や市長さんからアドバイスをもらったり、各校で話し合われた「市長さんへお願い」を提出したりしている。

#### 【会の概要】

##### I 目的

市長さんをはじめとする富士吉田市の政治をつかさどる方々と、児生連で取り組んでいる活動や富士吉田市をテーマに語り合うとともに、私たちの声を直接聞いていただき、よりよい富士吉田市について考え合う。

##### II テーマと話し合いの柱

「美しい富士山の街『富士吉田』で、ふれあいの輪を広げよう」

①同じ富士吉田市に住む児童・生徒として絆を深めることについて

②富士吉田市民として自覚を持ちながら、より良い街を創造していくことについて

##### III 日時

平成30年10月31日（火） 14時30分～16時00分

##### IV 場所

富士吉田市環境美化センター

##### V 参加者

<富士吉田市>

富士吉田市長，教育長，企画部長，秘書課課長，教育部長，教育次長，学校教育課課長  
学校教育課課長補佐，教育研修所所長

<富士・東部教育事務所>

地域教育支援スタッフ

<学校関係>

富士吉田市校長会長，富士吉田市校長会幹事長，富士吉田市教育会会長  
富士吉田市教育会事務局

<参加学校>

下吉田第一小学校，下吉田第二小学校，下吉田東小学校，明見小学校，吉田小学校  
吉田西小学校，富士小学校，下吉田中学校，明見中学校，吉田中学校，富士見台中学校  
富士学苑中学校，吉田高等学校，富士北稜高等学校，ひばりが丘高等学校  
富士学苑高等学校

## VI 当日の様子



### ①同じ富士吉田市に住む児童・生徒として絆を深めることについて

#### 【絆が深まったと感じた場面について】

- ・縦割り活動を通して他学年とも交流を深めることができた。
- ・学校行事を通して地域の人ともふれ合う機会をもつことができた。
- ・合唱活動を行い、学校全体が一体化し、つながりを深めることができた。
- ・生徒総会で、一人ひとりが取り組みを考えることでつながりを意識することができた。

#### 【取り組みの成果と課題について】

- ・縦割り活動を行う時だけになってしまい持続することが難しい。
- ・縦割り清掃の時に、なかなか他学年に声をかけることができない。
- ・どうしても仲のいい人同士で行動してしまう人がいる。
- ・下級生のリーダーシップに課題がある。
- ・活動の時間がもっとほしい。
- ・休み時間に他学年と遊んでいる様子が見られるようになった。

### ②富士吉田市民として自覚を持ちながら、より良い街を創造していくことについて

#### 【富士吉田市のよいところについて】

- ・祭りを通して地域の人たちがつながっている。
- ・きれいな街にするために地域の人たちが協力して活動している。
- ・児童生徒の登下校時などに地域の人たちが見守り活動をしている。
- ・進んであいさつし、コミュニケーションをとることができている。

### 【よりよい街を目指すために大切だと思うこと】

- ・ボランティア活動などに積極的に参加して地域のつながりを増やす。
- ・地域の行事に積極的に参加して伝統を引き継いでいく。
- ・富士山のことをもっと知り、どうやって環境を守っていくか考える。
- ・困った人がいたら進んで助け合うこと。

### 【市長さんや市役所の人たちと取り組んでいきたいこと】

- ・あいさつを増やす活動。
- ・環境を守るためのリサイクル活動。
- ・外国からの観光客へのマナー向上の呼びかけや交流する活動。
- ・節電や節水、地球温暖化防止への取り組み。
- ・観光客にアンケートをとり、富士吉田市の長所や短所を知り、街づくりや産業に生かす。

### <平成30年度「市長さんと話す会」の成果と課題（アンケートより）>

- ・市長さんと話ができる機会はとても貴重であり、大きな達成感・満足感があった。
- ・市長さんと直接お話しできて、嬉しそうだった。
- ・児童会の代表としての自覚が高まり、話し合いの大切さを実感することができた。とても充実感ある会だった。
- ・本年度のように、討議の柱を設定しつつ、即興的な話し合いの場面も設けられるとよい。
- ・他校の取り組みが参考になり、またよい刺激となった。
- ・市長さんや、高校生からの一言が心に残った。
- ・中学生だけではなく、高校生もいたことがよい刺激になった。
- ・児童生徒に自分たちで会を運営していくという意識を高めさせていきたい。そうすることで議長に指名された学校への意識が向き、発表を聞く態度もさらに高まると思う。

## 4 おわりに

「市長さんと話す会」は、児童生徒が市長さんと直接話ができる貴重な機会だと言える。市長さんの話を聞き、自分たちの意見を聞いてもらえることは、児童生徒の充実感につながっている。また、実際に街づくりに関わる行政の人たちの話を聞き、富士吉田市への強い思いを感じることができた。このことは、自分たちもよりよい地域社会を創造していこう、子どもたちの市民としての自覚、社会参画への意識を高めることにつながると思う。さらには、高校生との交流を通して、「地域のために」という高い意識を感じることができ、自分たちの活動への意欲を高めることにもなった。実施時期や会の運営方法など改善点はあるが、今後も行政との関わりや小・中・高の連携を大切に、児童生徒の学びの場となる「市長さんと話す会」を行っていきたいと考えている。

